



令和5年1月24日

各 位

会社名 イワブチ株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田秀吾
(コード番号 5983 東証スタンダード)
問合せ先 専務取締役管理本部長 遠藤雅道
(TEL. 047-368-2222)

特別利益(負ののれん発生益)の計上及び 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和5年3月期連結会計年度において、特別利益(負ののれん発生益)を計上する見通しとなりました。

また、上記の他、最近の業績動向を踏まえ、令和4年5月16日に公表した連結業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益(負ののれん発生益)の内容

令和4年9月20日に開示しました「富田鉄工株式会社の子会社化に関するお知らせ」に記載のとおり、令和4年10月3日付で同社が連結子会社となりました。

これに伴い、令和5年3月期第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益595百万円を特別利益として計上する見通しです。なお、当該金額は暫定的に算定された金額であり、今後の決算手続きにより確定する予定です。

2. 連結業績予想の修正

(1) 令和5年3月期通期連結業績予想数値の修正(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,139	202	294	171	159.21
今回修正予想(B)	10,841	205	295	732	681.53
増減額(B-A)	△298	3	1	561	
増減率(%)	△2.7	1.5	0.3	328.1	
(ご参考) 前期実績 (令和4年3月期)	10,262	414	487	755	703.05

(2) 修正の理由

売上高は、新製品の投入等、積極的な拡販に努めておりますが、ケーブルテレビ事業者や移動体キャリア向け製品の需要が低調に推移していることから、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

営業利益及び経常利益は、原材料価格の高騰や年金運用収益の悪化を見込んではいるものの、収益性・生産性両面の向上に努めた結果、前回発表予想並みとなる見通しとなり、親会社株主に帰属する当期純利益は、これらの要因に加え、上記1.に記載のとおり特別利益(負ののれん発生益)が見込まれることから、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

※上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上